

鹿児島県漁海況週報

平成30年9月27日発行(9月20日～9月26日)
第2773報【旧暦:8月11日～8月17日/月齢10.4～16.4/潮汐:若潮～大潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、9月26日現在、平瀬の北4.1マイル付近にある。

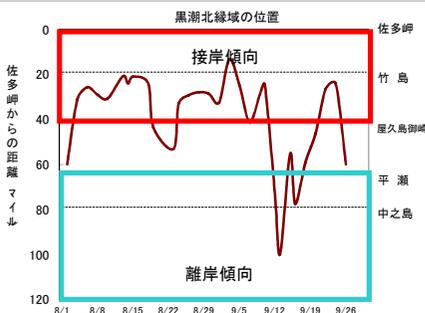
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、9月25日現在、55マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、与路島で0.5℃昇温し、その他の海域で0.2～1.6℃降温した。

平年比較では、中之島、与路島、与論で“かなり高め”，鹿児島、佐多岬、屋久島御崎で“平年並”，その他の海域で“やや高め”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	28.7	-0.7	+0.7	やや高め
鹿児島	25.6	-1.4	-0.3	平年並
佐多岬	26.3	-1.6	-0.3	平年並
竹島	27.7	-0.5	+0.7	やや高め
屋久島御崎	27.7	-0.9	+0.4	平年並
中之島	28.4	-0.9	+0.8	かなり高め
笠利崎	28.0	-0.8	+0.6	やや高め
与路島	29.1	+0.5	+1.2	かなり高め
与論	28.8	-0.2	+1.0	かなり高め
甕海峡	27.1	-1.0	+0.9	やや高め

鹿児島～那覇定期客船観測は9/26～27
串木野～甕定期客船観測は9/26

【漁況】

○定置網

西薩南部海域では、サワラ(300g)が0.5～2トン/日、トビウオ類(200～300g)が200～500kg/日、ヤマトカマス(100g)が200～300kg/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、ゴマサハ(300～600g)が1日のみ450kg、ヤマトカマス(80～120g)が350kg/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、ゴマサハ(300～500g)が40～560kg/日、ヤマトカマス(200～300g)が70～180kg/日の入網。大隅半島東部海域では、週計で35統がサハ類小、カマス類、サハ類中主体に38トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でサハ類、タイ類、チチウオ主体に11.8トンの入網。

○キビナゴ刺網

甕島海域では、3～6箱/隻・日の漁。種子島海域では、7～8箱/隻・日の漁。

○ブリ銅付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、3.5～7kgを20～130尾/統・日の漁。

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、中ヒを1日のみ100箱/統の漁。屋久島海域では、中ヒを1日のみ62箱/統の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の記事に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2724報)

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日	前週		前年同期		
						1統	隻数	漁獲量	隻数	漁獲量	
旋網	阿久根	大	61	天草沖	ウルメイワシ91 サハ類豆5	60.6	4	145	2	106	
		中	9	長島 野間池沖	マアジ仔34 ヒラ23 チチウオ17	4.7	37	217	6	72	
	枕崎	大	124	鷹島 津倉	ゴマサハ豆94	41.3	12	607	6	228	
		中	62	草垣 鷹島内之浦沖	ゴマサハ豆86 マサハ小10	20.8	24	675	8	127	
	内之浦	中	0	—	—	—	0	—	0	—	
	山川	中	0	—	—	—	0	—	0	—	
計	大	4	184	—	—	46.1	15	682	8	334	
	中	5	72	—	—	14.4	58	808	14	198	
東海旋網	阿久根	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
	枕崎	1	32	—	ゴマサハ豆96	31.8	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	25	51	阿久根沖 長島	ウルメイワシ97	2.1	63	197	35	97	
	内之浦	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	35	38	—	サハ類小44 カマス類25 サハ類中13	1.1	39	48	39	39	
刺網	阿久根	大	0	—	—	—	0	—	0	—	
		小	0	—	—	—	0	—	1	4	
	枕崎	海旋	1	759	—	カツオ中50 キハダ22 カツオ小19	758.9	0	—	0	—
		中	0	—	—	—	—	2	7	10	117
	山川	海旋	1	638	—	カツオ小76 キハダ19	638.1	2	855	2	1260

○パッチ網

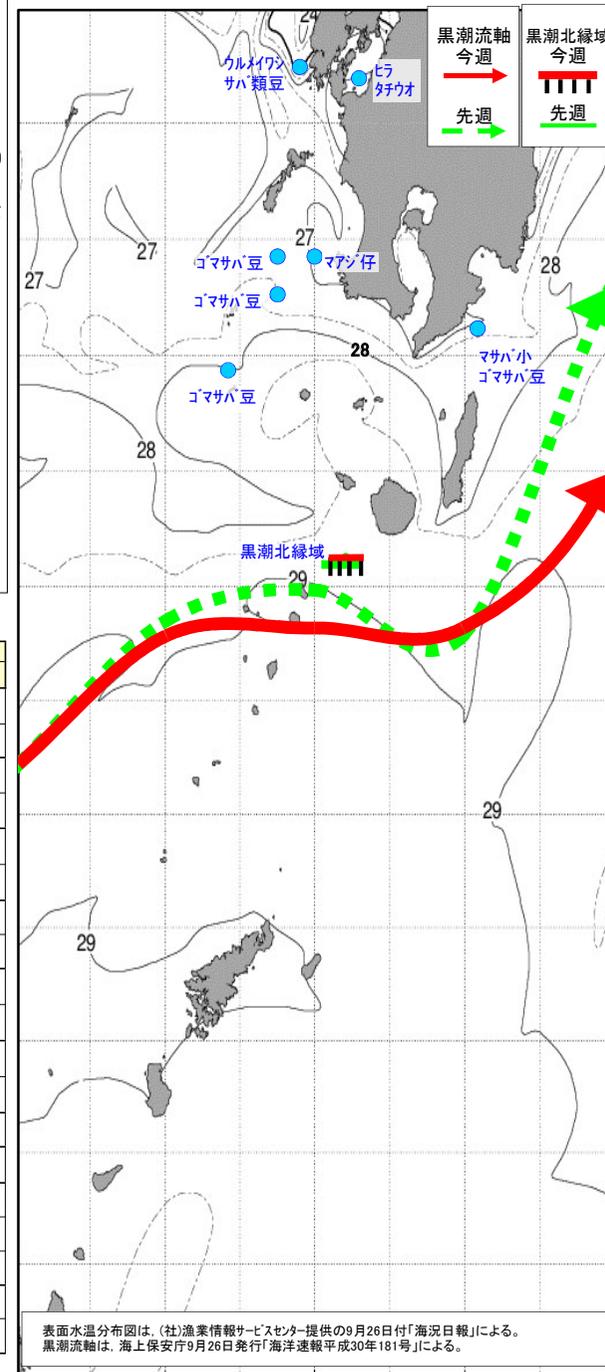
西薩海域では、生で1～1.6トン/統・日の漁。

○バショウカジキ情報

流し網では、甕島海域で17～40kgを1～13尾/隻・日、西薩海域で23～40kgを7～8尾/隻・日、西薩南部海域で1日のみ20kgを1尾/隻の漁。定置網では、西薩南部海域で20～30kgが10～45尾/日、鹿児島湾口部薩摩半島側で17～57kgが1日のみ26尾、志布志湾南部海域で18～26kgが3尾の入網。

○その他

西薩海域では、底曳網でツキヒカイ(100g前後)を80～100kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒケナガエビを100kg/隻・日、ツキヒカイ(100g前後)を10～60kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、刺網でイセエビ(400～500g)を20～30kg/隻・日の漁。底曳網でマダイ(1.5～2kg)を30kg/隻・日の漁。屋久島海域では、一本釣りメダイ(4～5kg)を100kg/隻・日、アオダイ(700g)を70～80kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの2日操業でキハダ(10～20kg)を250kg/隻の漁。延縄の3日操業でメダイ(4～8kg)を400kg/隻、ムツ(2～6kg)を200kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の9月26日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁9月26日発行「海洋速報平成30年181号」による。